

# 咲きほこれ! フラワーパーク

よこて  
法人会報

発行所  
公益社団法人横手法人会  
横手市大町7番18号  
(横手商工会議所2階)  
TEL35-7766

URL <http://hojinkai.zenkokuhojinkai.or.jp/yokote/>  
E-mail  
[yokoteho@crest.ocn.ne.jp](mailto:yokoteho@crest.ocn.ne.jp)

秋田ふるさと村、おまつり広場に  
フラワーパークが登場しました。  
可憐な花々の美しさが、町に心に  
癒やしと光を与えてくれます。



開会の挨拶 (齋藤善一会長)

去る、6月6日(月)午後4時より松與会館において定時総会が開催されました。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながらの開催となりました。

本年は、3年ぶりの通常の形での開催となり、234社より委任状をいただき当日の参加者を含め286社の出席となりました。

ご来賓に、横手税務署長 栗田和夫様、同法人課税部門統括国税調査官 芳賀徳彦様、秋田県総合県税事務所平鹿支所長 小松宏生様など多数のご臨席をいただき開催いたしました。

齋藤会長は、開会の挨拶の中で、「ウクライナ情勢を起因とする物の値上がりや、コロナが早く終息しないかなど懸念されることが多い



御来賓の皆様

が、早く日常生活が戻ってほしい。」また、秋田米新品種「サキホコレ」のパッケージデザインを担当された日本デザインセンター代表取締役社長で、武蔵野美術大学教授の原 研哉氏の著書「低空飛行」の中から、「地球温暖化による近頃の気候変動の問題も、『わたしに降りかかった災厄』ではなく『わたしたち』が直面している問題である。この世に生かされているヒトは、主語『わたし』が新主語『わたしたち』へと移行し始めている事を感じなければいけないのかもしれない。

つまり個の時代といわれ育ってきた中高年の世代も、グローバルな世界を俯瞰する視点を持ち現代の諸課題に取り組まねばならない。また、日本は島国であり津々浦々



監査報告 (和泉健一監事)

の風土や文化が守られてきた。これを観光資源としてだけで捉えていいのか。本業ではない活動にこそ未来が眠っている。すぐには役立ちそうにない営みに物事の本質が潜んでいる。」と述べられ、激変の時代を地方で生きるための示唆を紹介されました。

続いてご来賓の紹介のあと、定款の定めにより齋藤会長が議長となり、議事録署名人に藤沢進氏、鶴田典治氏の兩人を指名し議事審議に入りました。

**〔審議事項〕**

◆第一号議案 令和3年度決算報告承認の件 (監査報告)

議長は議案を上程し、大和事務局長から内容が説明されました。続いて監事を代表して、和泉健一監事から決算内容は適正であった



来賓あいさつ (横手税務署長 栗田和夫様)

たとの報告がなされました。議長は、議案に対しての質疑を議場に求め、満場異議なく承認可決されました。

**〔報告事項〕**  
次に報告事項として、  
一、令和3年度事業報告  
二、令和4年度事業計画  
三、令和4年度収支予算  
が大和事務局長から説明報告されました。

続いて令和4年度会員増強協力者と優良経理担当者の表彰がありました。

次に、ご来賓を代表して栗田和夫横手税務署長より祝辞を賜り、総会を閉会しました。総会終了後、懇親会が奥山副会長の挨拶と乾杯で開会されました。3年ぶりとなる懇親会とあって二年間の間に入会された方や新たに代表となられ



懇親会閉会のあいさつ (伊藤洋二副会長)



懇親会開会の挨拶と乾杯 (奥山和彦副会長)

た方などで名刺交換が行われるなど、会員同士、またご来賓を含めて様々な情報交換がなされ、賑やかな会となりました。

午後6時半に伊藤洋二副会長の締めめの挨拶で、和気あいあいのなか、懇親会を閉会しました。

### 令和4年度 会員増強協力者表彰

令和4年度の会員増強協力者を表彰しました。

◎大同生命保険株式会社

北東北支社 秋田営業部

横手営業所

山本節子様

おめでとうございます。

今後のさらなるご活躍をご期待申し上げます。



会員増強協力者表彰 山本節子様

### 令和4年度 優良経理担当者表彰

令和4年度の優良経理担当者表彰は次の方々です。

◎株式会社クリマ

鎌田幸子様

(横手)

◎有限会社伊藤舗道

伊藤澄子様

(十文字)

おめでとうございます。

今後のさらなるご活躍をご期待申し上げます。

申し上げます。

伊藤澄子様は当日出席出来な

かったため、後日事務局が賞状と

記念品を、お届けしました。



優良経理担当者表彰 鎌田幸子様



### 青年部会だより

7月7日(木)午後6時より、松與会館において令和4年度定時総会を開催しました。三年ぶりに横手税務署 法人課税部門統括国税調査官 芳賀徳彦氏、横手法人会長 齋藤善一氏を来賓にお迎えしての通常の開催となりました。

総会冒頭では、佐野雅通部会長より「改めて定款を見て法人会の



開会の挨拶 (佐野雅通部会長)



来賓祝辞 (芳賀徳彦 横手税務署法人課税部門統括国税調査官)



来賓祝辞 (齋藤善一会長)

設立目的を確認した。青年部会はその目的に則り事業活動を推進することが目的とされていることをみなさんと確認したい。また部会員数が少ないので新規部会員の勧誘を進めたい」等の挨拶がありました。

その後、議長を部会長に選出し議案審議に入りました。

#### ◆議案第一号

令和3年度事業報告並びに収支決算の承認について

事務局からの説明のあと承認されました。

#### ◆議案第二号

令和4年度事業計画(案)並びに収支予算(案)の承認について

大和事務局長からの説明のあと承認されました。

総会終了後は、同会館の別会場に移動し懇親会を行いました。

懇親会では、佐野部会長が、会則の年齢規定により今年度で青年部会を卒業される村岡義則に卒会証書と記念品を贈呈しました。

### 女性部会だより

6月28日(火)午後四時三十分より、松與会館において令和4年度定時総会を開催しました。

はじめに、吉田部会長より、日頃からの部会活動への協力に対して会員へ感謝の言葉がありました。また三年ぶりの通常の形での総会開催に関して、ご臨席いただいた来賓の横手税務署長栗田和夫氏、横手法人会長 齋藤善一氏への御礼と挨拶がありました。

その後、議長を吉田部会長に選出し議案審議に入りました。



来賓祝辞 (齋藤善一会長)

#### ◆議案第一号

令和3年度事業報告並びに収支

決算の承認について

大和事務局長からの説明のあと

承認されました。

#### ◆議案第二号

令和4年度事業計画(案)並び

に収支予算(案)の承認について

大和事務局長からの説明のあと

満場一致で承認されました。

総会終了後は、別室に移動し懇

親会を行いました。

村岡映子副部会長の発声で懇親会を開催し和気あいあいの中、親睦を深めました。



来賓祝辞 (栗田和夫横手税務署長)

# 新税務署長あいさつ

横手税務署長 藤原 守



残暑の候、公益社団法人横手法人会の皆様方には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度の人事異動により、横手税務署長を拝命し、仙台国税局調査査察部から転任してまいりました藤原でございます。前任の栗田署長同様、よろしくお願い申し上げます。

横手法人会は、創立以来、長い歴史と伝統を誇る会として、地域を代表する企業の皆様方が結集し、税知識の普及や納税意識の高揚、地域企

業の健全な発展や社会貢献など、公益法人として多岐にわたり活発な事業活動を展開されていると伺っております。齋藤会長様をはじめ、役員並びに会員の皆様方の日頃の活動に對しまして、心から敬意を表する次第でございます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、横手法人会の皆様におかれましても大変なご苦労をされていることと存じます。新型コロナウイルス感染症により生活や事業に大きな影響を受けられている皆様におかれましては、心からお見舞い申し上げます。

私ども税に携わる者といえども、経済取引の国際化・複雑化等、税務行政を取り巻く環境の変化に的確に対応しながら、適正・公平な課税及び徴収の実現と納税者の皆様から信頼される税務行政の確立を目指し、なお一層の努力を重ねて参る所存でございます。今後とも皆様のお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

横手法人会の皆様方には、二つほどお願いがございます。

一つ目は、消費税の適格請求書等保存方式、いわゆるインボイス制度についてです。

来年10月から消費税のインボイス

制度が開始されます。

この制度におきましては、これまで消費税の課税事業者の方であってもインボイス発行事業者になるための登録申請が必要となります。

インボイス発行事業者登録申請の原則的な提出期限であります令和5年3月が近づきますと、申請数が増え、登録までにお時間がかかることが予想されますので、登録を予定されている事業者の皆様には、e-Taxを通じての早めの申請をお勧めしておりますので、横手法人会におかれましては、制度周知に向けてご協力を賜りますようお願い申し上げます。

二つ目はキャッシュレス納付についてです。

国税庁では、納税者の利便性向上と現金管理に伴うコスト削減のほか、新型コロナウイルス感染症の感染リスク低減の観点からも、非対面の納税手段であるキャッシュレス納付の利用促進を図っており、令和7年度までに国税のキャッシュレス納付割合を4割とすることを目指しております。

キャッシュレス納付につきましては、是非、早期のご利用をご検討いただきますようお願いいたします。

最後になりますが、公益社団法人横手法会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝並びに事業のご繁栄を祈念いたしまして、着任のご挨拶とさせていただきます。

## 税務署人事異動

横手税務署の定期人事異動が7月10日付で発表されました。異動は次のとおりです。

### ■着任しました。よろしく申し上げます。

#### 新 官 職

- 総務課 総務課長
- 管理運営・徴収部門 上席国税徴収官
- 管理運営・徴収部門 国税徴収官
- 個人課税部門 統括国税調査官
- 個人課税部門 国税調査官
- 個人課税部門 上席国税調査官
- 個人課税部門 国税調査官
- 個人課税部門 財務事務官
- 法人課税部門 上席国税調査官

#### 前 任 署

- 熊谷 純 仙台国税局総務部
- 坂田 千枝 湯沢税務署
- 廣嶋 洋輔 大曲税務署
- 菅 勝業 盛岡税務署
- 佐々木 順治 湯沢税務署
- 伊藤 美佐雄 秋田南税務署
- 高橋 礼奈 白河税務署
- 柴田 淑子 湯沢税務署

### ■転任しました。在任中は、大変お世話になりました。

#### 前 官 職

- (総務課 総務課長)
- (管理運営・徴収部門 上席国税徴収官)
- (管理運営・徴収部門 国税徴収官)
- (個人課税部門 統括国税調査官)
- (個人課税部門 国税調査官)
- (個人課税部門 上席国税調査官)
- (個人課税部門 国税調査官)
- (個人課税部門 国税調査官)
- (法人課税部門 国税調査官)

#### 新 任 署

- 小西 剛 石巻税務署
- 梶原 由加 湯沢税務署
- 和久井 友香 大曲税務署
- 原田 剛 酒田税務署
- 高橋 淳 秋田南税務署
- 五十嵐 千夏子 仙台国税局課税第一部
- 関根 信郎 八戸税務署
- 中野 夏樹 八戸税務署

# 今こそ、上杉鷹山に学ぶべし

歴史人物像研究家 鈴木貞夫

今年、上杉鷹山没後200年。10歳で上杉家の養子に入った鷹山は、17歳で

米沢15万石を襲封した。しかし、当時の上杉家の財政は瀕死の状態にあった。

鷹山は不可能と言われた米沢藩の財政再建を、55年の歳月をかけ、あらゆる逆境を乗り越えて成功させたのである。なぜ、そんなことが可能だったのか。鷹山は72年の生涯を通じて、数多くの言葉を遺している。

それは、家臣や領民への諭の言葉であると同時に、自分への戒めの言葉でもあった。

コロナ禍で先の見えない時代をどう生き抜くか。現代よりもはるかに厳しい時代を生きた鷹山の言葉の中から4つを選んで、逆境を克服する要諦を探りたい。

## 受け次いで 国のかさの身となれば 忘るまじきは 民の父母

鷹山は藩主となったからには、領民の親になったつもりで政治をやらなければならぬと心に誓った。

師・細井平洲から学んだ教訓の基本である。また、それ以前に実家・秋月家の家老・三好善太夫からは「何よりもまず自身の修練を積まなくてはなりません」と教えられた。

この両師の教えを鷹山は生涯にわたり実践した。鷹山は大倭約令を發布して、藩政の改革に踏み出した。

自身の仕切金(生活費)を7分の1に節減し、着物は木綿、食事は一汁一菜で、領民と苦楽を共にする姿勢をとり、参勤行列の簡素化する。

などを断行し経費の節減に尽力した。

しかし、幕府の手伝い普請(建築工事負担金)は1万6千両余りの出費で藩収入の2割を超える金額だった。領外からの借金はできず、結局、領内で家臣、農

## 国家人民の為に立てたる君にして、君の為に立てたる国家人民には之なく候

鷹山の藩主在任18年で財政はほとんど改善されなかったが、天明5年(1785)2月、鷹山の養子・治広に家督を譲って隠居した。

その際、「伝国の辞」と呼ばれる人君(藩主)の心得三か条を治広に授けた。その中の1つの言葉である。

民、町人から賦課金を徴収せざるをえなかった。

19歳で、それまでの江戸住まいから米沢に初入部した際には、「鉄砲射撃上覧」

(藩主による鉄砲射撃見学)時に家臣たちに丁寧に対応し、鷹山の誠意に家臣たちが感激し、中堅の家臣たちとの信頼関係が築かれ、江戸藩邸再建には命がけで尽力してくれた。

しかし、江戸家老だった竹俣当綱を登用して殖産興業を積極的に行おうとした際に、計画通りに進まず、財政改善は滞ってしまった。

藩主は、藩と人民の為にある。藩主の為に、藩や人民があるのではない。

これが鷹山の政治理念であり、人民が主であり、人民を富ますことが国を再興させることであるという考えに基づくものである。

治広はこの心得を肝に銘じて、藩政に懸命に取り組

んだが、消極政策と天明飢饉による打撃は大きく、財政は更に悪化し立ち行かなくなってしまった。

鷹山は治広の切望もあり、6年ぶりに藩政に復帰した。

その際、隠居していた江戸善政をかたくなに固辞するを説得し、改革を委ねた。

54歳の善政は寝る間も惜しんで、藩政改革に打ち込んだ。

鷹山の意をくんで領民のためになる「寛三の改革」を推し進めた。

代官の世襲制を廃し、誠実で実力のある役人を配した。年貢の取りたても改善を加えた。

米沢藩の貧しさの原因は、領地に対し家臣の数が極端に多いことである。

そこで、家臣の次男・三男の土着を奨励した。武士たちが農業に従事しても、地位が損なわれることはなく、武士の特権はすべて保証した。

永久的な土着が実現したことは、財政好転に大きく

寄与した。

また、農村人口の増加策として、15歳以下の子ども

が5人以上いる農家には米を支給し、困窮者には年1両の養育手当を支給した。

でないことを論じた。機織りは、財政再建に大いに貢献した。

意見してくれる人もなく、わがままになっている。そこに生活費が上がれば、もつとわがままになってしまふ」と辞退した。

ら1人の餓死者も出さなかった。鷹山と莅戸善政が飢饉に備え、粃を備蓄しておいたからに他ならない。

### 為せば成る 為さねばならぬ何事も ならぬは人の 為さぬなりけり

これは鷹山が、実子・頭

孝への教訓として送った壁書の一部である。だが、こ

など多様な産業を奨励した。中心になったのは養蚕と織物である。とくに、織物が重要な産業となった。

勤から12年、全身全霊で藩の改革に邁進した莅戸善政は米沢の恩人であった。

鷹山の晩年は平穏だった。何の心配ごともなく、睡眠中に息を引き取った。鷹山の葬儀の日には、何万人もの領民が道端に出て、自分の親が亡くなったかのように号泣したという。

鷹山は、現代とは全く違う政治制度の時代に生きた人間だが、学ぶべきところは数多い。

れは鷹山自身の言葉ではない。陽明学者・熊沢蕃山の言葉であるが、鷹山はこの

さえ生計を立てるのに内職をしていた。

鷹山は将来のために教育にも心血を注いだ。厳しい財政の中でも、学問所を再興し、子弟の教育についても極めて熱心だった。

鷹山公のおかげで我々の暮らしがよくなったのだという強い思いがあったのだろう。

鷹山は、将来を見据えた先代を乗り越えて政策を立てた人間なのだ。

孝に与えたのだといえるが、今は鷹山の言葉とされていく

落士として明確に落士の副業を奨励したのは、莅戸善政が改革を始めてからであった。

治広の養子になり、世子となっていた頭孝が19歳の若さで病死してしまふと、嘆いている暇もなく、新たな世子として7歳の斉定の教育に全力を注いだ。手塩にかけて育てた義理の孫・斉定が上杉家12代となった。

鷹山は、将来を見据えた先代を乗り越えて政策を立てた人間なのだ。

鷹山は、将来を見据えた先代を乗り越えて政策を立てた人間なのだ。

鷹山は早くから郷倉を設置して飢饉に備えてきたにも関わらず、天明の飢饉では少ないとはいえ犠牲者を出したことを猛省し、次の

困窮財政から脱出を図る重要な政策の一つだった。鷹山は武士が機織りをすることは何ら恥すべきこと

鷹山は、将来を見据えた先代を乗り越えて政策を立てた人間なのだ。

鷹山は、将来を見据えた先代を乗り越えて政策を立てた人間なのだ。

鷹山は、将来を見据えた先代を乗り越えて政策を立てた人間なのだ。

飢饉に備え、粃の備蓄をしていった。

鷹山は、将来を見据えた先代を乗り越えて政策を立てた人間なのだ。

鷹山は、将来を見据えた先代を乗り越えて政策を立てた人間なのだ。

鷹山は、将来を見据えた先代を乗り越えて政策を立てた人間なのだ。

鷹山は、将来を見据えた先代を乗り越えて政策を立てた人間なのだ。

鷹山の最大の課題は、財政改革である。これは何と

鷹山は、将来を見据えた先代を乗り越えて政策を立てた人間なのだ。

### 老いぬれば、心のまきを戒しむと ふるき教えを我まもららん

自分自身への戒めの言葉である。

活の面で不自由していた鷹山の生活費を増額しようとした。

鷹山は、後に蚕神として祀られた。

鷹山の「生き方」を学び、今後の生き方の糧としたものだ。

漆や桑の樹木の植え立て

藩がすでに豊かになりだしたころ、藩主の斉定は、生

鷹山はこれに対し、「善政が亡くなってから、私に

鷹山の死から11年後に起きた天保飢饉では米沢藩か

鷹山の「生き方」を学び、今後の生き方の糧としたものだ。

他、陶器、紙、鯉の養殖

たころ、藩主の斉定は、生

鷹山はこれに対し、「善政が亡くなってから、私に

鷹山の死から11年後に起きた天保飢饉では米沢藩か

鷹山の「生き方」を学び、今後の生き方の糧としたものだ。

会社になくてもはならないもの  
— 働くみんなの健康

畠山 健康って、最高の演技をしたり、仕事のパフォーマンスを高めたりするうえで、欠かせないものですね。

北原 本場にそうですね。会社は、もちろん売上や利益も大切ですが、従業員がいないと成り立ちません。最近では、企業が従業員の健康管理に投資することによって、企業価値や収益性が向上するということがわかってきました。また、従業員にとっても、自らが働き方や生活習慣を見直すことで、ワークライフバランスが高まり、仕事に対する

モチベーションも上がります。このように、将来の企業価値や業績の向上につなげられる「従業員の健康管理」を、経営の視点から戦略的に実践していく、それが健康経営®の基本となる考え方です。

企業の未来をつないでいく  
生命保険を、これからも

畠山 健康経営は、事業を継続・発展させていくうえでもメリットがあるということですね。健康経営を推進していくために、ポイントはありますか？

北原 健康経営を推進するためには、楽しく健康づくりに取り組む

会社みんなの健康が中小企業の未来をつくる。

ことがポイントのひとつだと思います。全国の中小企業経営者の方から「健康経営を通じて会社を活性化したい」「従業員の保障を幅広く確保したい」といった声をいただき、2022年1月、KENCO SUPPORT PROGRAMと保障を一体化した新しい保険商品「会社みんなのKENCO+」を発売しました。幅広い保障で、さまざまなリスクにそなえるとともに、健康増進特典により健康経営を推進し「病気の予防」も同時に行えるのが大きな特長です。また、いつでもどこでも「簡単な手続き」により、会社のみなさんで加入しやすい保険としました。

畠山 「会社みんなのKENCO+」のご加入が「健康経営をスタートするきっかけ」になれば良いですね。  
北原 そうですね。この商品にご加入いただくことで、楽しみながら健康経営に取り組む企業を増やし、「中小企業とそこで働く人々がいきいきと活躍できる社会づくり」や「日本の高齢化社会が抱える課題解決」への貢献を目指してまいります。  
※「健康経営®」はNPO法人健康経営研究会の商標登録です。

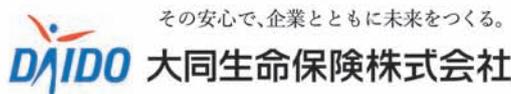
「会社みんなのKENCO+」の商品概要は当社HPをご覧ください



大同生命 健康経営アンバサダー  
**畠山 愛理**  
元新体操日本代表選手。  
現在はテレビ出演やモデルなど幅広く活躍中。

大同生命保険株式会社  
代表取締役社長  
**北原 睦朗**  
1982年大同生命保険入社。  
T&Dホールディングス専務などを  
経て、2021年4月、社長に就任。  
東京都出身。

大同生命は中小企業の健康経営を応援しています。



おかげさまで120周年

きた東北支社 秋田営業部/秋田県秋田市中通2-3-8(秋田アトリオンビル5F) TEL 018-833-5121